

10. 考察

パスの導入の前後比較を統計学的に行うにはパス導入後のデータが少なかった。パス導入後のデータ収集を継続することも大切であるが、さらに、パス適応の基準を定めていかないと、前後比較するのに影響因子が大きすぎることになる。

研究の成果：研究の成果としては、医療費削減が課題となっている中、医療管理手法であるパス法の経済効果という有効性だけでなく、患者サイドからの有効性と有用性を、臨床アウトカムとしての在院日数、ADL、患者の満足度、スタッフのケア業務の有効性から検証することがあげられる。

今回の研究でわかったこと

1) 医療の標準化としてのパスを作成するためのバリエーション収集

現在のパスの段階では「現在の臨床の内容」をまとめている段階であるから、パスを改善させていくことでケアの標準化を測定しなくてはいけないということである。クリティカル・パスには3段階あって、パスを改善していくことで、その医療の標準化が図られていく。

第1段階 現在行っている医療ケアのパス

第2段階 標準化されたケアのパス

第3段階 理想のパス

今回収集したパスのバリエーションは、医療ケアを標準化するための材料となるデータであって、バリエーションとしてシステム改善できる段階のものではない。

2) チーム医療とTQM(Total Quality Management)

今回のパス作成では、医療におけるTQM (total quality of management) の点で、クリティカル・パス作成が、チーム医療と、さらにはその話し合いからのシステム改善、プロセス改善となることが明確となった。具体的には、在院日数を引き伸ばす要因となるMRIの診断確定のための日程を検査室で確保するという交渉、患者の家族への、「病院というのは通常30日いることができない」説明などを早期に行うことで、在院日数の引きのばし、または転院ベット待ちなどを、早期のベット予約ということで行うこととした。パス後の満足度は前後の数が多いので単純に比較はできないものの、満足度としての全体では、不満足というのがまったくなく、全体として高い印象がある。

3) 高齢者の特性とパス

今回のデータ (N=113) を、パスの使用に関らず、高齢者70歳未満と70歳以上に分類にして比較してみた。留置カテーテルの日数と実施率、モニターの装着率が70歳以上はやや高く長い傾向にある。医師の説明、パスの説明、入院治療計画書、薬剤師計画指導は70歳未満への説明が、70歳以上より少なくなっているが、これは記録のつけ忘れ問可能性もある。これは、パスを作成する際に高齢者対象のパスとして別枠で考える指標として今後検討される必要がある。

4) 研究結果の利用上の効果

パスを作成したときに何が医療ケアのアウトカムに直結するかということとは、パスの使用段階によってかなり差異があるのだということが今回の研究ではわかった。さらには、パスを使用するだけでは、ケアの標準化は図れないこと、それに付随したシステム改善、医療ケアの見直し、スタッフ教育が必要なことがわかった。これは全国でのパス使用での実際的なパス使用効果の達成目的を考える上で指標となる。米国でもこの第一段階だけで、パスの効果がでないといって、辞めてしまう場合が多い。これに対する警告が研究結果から理解できる。パスを利用したときの効果は、ケアの標準化を測定したときにしかわからないわけである。

5) 研究全体の研究計画

パスの使用開始が遅れたために、パス使用後のデータがまだ中途段階である。パス使用後のデータを100まで行くと同時に、現在のパスの改善を行って、さらにケアの標準化と医療ケアのアウトカムに影響する因子としてのバリエーションを定めて、データ収集を行うことがこれからの課題となる。さらにはケアの標準化をもっと図っていくことが課題であるので、バリエーション分析を行う前に、パスの適応患者と除外患者の基準をもっと図っていかなくてはいけない。研究全体としてはまだ、第一段階のパス作成しか行っていないで、パス作成と医療の標準化で医療ケア全体の質を向上させ、それが経済的な効率として結果が出る、ということの研究からわかる初段階である。平成11年度は第二段階の医療の標準化ということを達成した上でのパスの使用効果を研究する。

6) 研究によって得られた成果の今後の活用

今後、医療費の定額制導入によって何らかの医療管理手法が必要とされる。そのときに、有効性と効率性以前に医療ケアの適正な提供ということが必要となる。その中で、クリティカル・パスというのはその3者(有効性、効率性、医療の適正)を同時に提供できるものではある。しかしながら、それはクリティカル・パスを正しい方向性で使用するということが前提となる。その中で正しい医療管理手法としての使用の仕方の示唆が必要となる。そこでこの研究の結果を様々な媒体を用いて、医療者に提供していくことによって、医療管理手法のし示唆なるように啓蒙する。さらに、この研究はまだ、クリティカル・パス導入の第一段階であったので、今後継続的なケアの質のコントロールという点で研究成果を提供できる。

今回の研究で得られた成果はもっと発展させて、学会で発表すると同時に、医療の現場でこれを適応していきたい。特にパスのTQMとしてのシステム改善、パスがバリエーションだらけになる理由などは標準化されていないパスの問題であることは知識として提供していかななくてはならない。今回の研究で、米国で行われている研究の文献レビューを行ったが、これはすでに看護管理で発表されていて、今後パスを用いた研究を行っていく予定の研究者や臨床者には大いに活用され、役立つものと思われる

11. 今後の研究課題

- 1) パスの患者適応基準・除外基準の定義を狭めていく、さらにパス導入前がその基準で100ケースとなるようにデータ収集をしない
- 2) CVAのパスの標準化を図り、第2段階としてのパスとしてバリエーション収集を行う
- 3) アウトカム指向のパスとする
- 4) バリエーションを収集する臨床的・インディケータを定める（アウトカムに影響するもの）
- 5) 他の病院のパスの前後比較研究開始
- 6) 他の疾患（外科系）のパスの前後比較の研究開始
- 7) 在宅のケアのパス使用後の比較開始
- 8) CVAのデータの入力内容を再検討する
- 9) 今後のデータ収集内容の方向性

A. 患者用パス (第1回目作成 9/98)

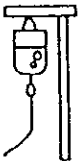




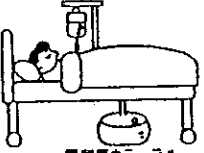
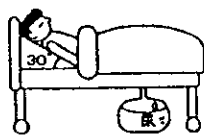
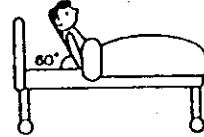











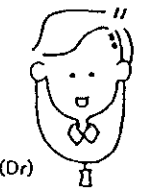






入院治療計画書 (脳梗塞Aコース)

様

| 経過 日時 | 入院日 | 2日目 | 3日目 | 4日目 | 5日目 | 6日目 | 7日目 | 8日目~ | 14日目 |
|-----------------------|--|---|---|--------|-------|---|-----------|------|------|
| 検査 | 血液検査・心電図・レントゲン・頭部CT | CT | MRI | | | | 血液検査・頭部CT | | |
| 安静度 リハビリ | ベッド上絶対安静 理学療法士によるリハビリ開始 | ベッドブロック30°開始 | 60°まで可 | 90°まで可 | 端坐位開始 | 起立歩行開始 | 病棟内歩行開始 | | 病院内 |
| 食事 | 絶飲食 | 食事開始 (持続食) | 食事内容は病状に応じて変化します。 | | | 栄養士による食事指導 | | | |
| 清潔 | 午前中体をタオルで拭きます。 また、朝からおしぼりで顔を拭き、食後は歯磨きを行います。 | | | 洗髪可 | | 歩行許可後 シャワー浴可 | 入浴可 | | |
| 排泄 | ベッド上排泄または尿の管を入れます。 | 状況に応じて尿の管を抜きます。 安静に応じて、ポータブルトイレ、病棟トイレを使用します。 | | | | | | | |
| 点滴 内服 | 病状に応じ点滴が必要です。医師の指示により内服薬が始まります。 | | 診断確定 | | | 予後確定 | | | |
| 患者さん 及び御家族 への説明 | 病状について医師より説明があります。 | 頭部CTの結果の説明 があります。 | 医師からのモニテラ アポイントメント ① ()月()日 時 ② ()月()日 時 ③ ()月()日 時 | | | アポイントメント ① ()月()日 時 ② ()月()日 時 ③ ()月()日 時 退院および転院についての説明があります | | | |

* 状態に応じ予定が異なることもございます。何か質問があれば看護婦にお聞きください。 主治医： 担当者看護婦：

入院から退院までのスケジュール

| 経過日時 | 入院日 | 2日目 | 3日目 | 4日目~5日目 | 7日目~ |
|----------------|--|---|--|---|---|
| 検査 | MRI レントゲン エコー 心電図 | レントゲン 採血 尿検査 | | | C T 採血 |
| 治療 | 酸素吸入 点滴  | | 朝 夕   のみ | |  飲み薬になります  薬剤師が説明します |
| 安静度 | ベッド上 ・尿の管を入れます ・又はベッド上で便器を使います  |  |  |  | 車イス乗車  又は  歩行可 WC  |
| 清潔 |  毎日、私たちがお身体を拭いたり、体の向きを変えるお手伝いをします | ベッドを30° にします 血圧を測り変動がないか確かめます | ベッドを60° にし 血圧を測ります | ベッドを90° にし 血圧を測ります | |
| リハビリ | (PT)  ベッドの上で、手・足の運動から開始します (ST) | | |  座位訓練を開始 | リハビリ室で歩行訓練を開始します  シャワー-or  入浴 |
| 食事 |  何も飲んだり食べたりできません |  症状に合わせた食事が開始になります | → | | |
| 患者さんやご家族の方への説明 | (Dr)  病状の説明をします (Ns)  入院生活の説明をします |  家での生活状況を聞いたりします |  C T  心電図 検査の結果を説明します (Dr)  次回面接予定日を決めます | |  病状の説明と今後のことお話しします 看護婦、リハビリ、ソーシャルワーカーもまじえて |

看護記録表 1-2

脳梗塞経過観察表 看護記録 1-1

| 氏名 | | 性別 | 年齢 | 年齢 | 年齢 | 主治医 | 看護婦 | 感染症 | 有()・無 | 日 | | | | | | | | | | | | No. | |
|---|--|--|----|-------|----|-----|------------|-----|--------|---|---------|--|--|--|--|--------------------|--|--|--|----|--|-----|--|
| 病名 | | 身長 | cm | 体重 | kg | 7レキ | 有()・無 | 時間 | | | | | | | | | | | | 氏名 | | | |
| 連絡先 | | 1.() | - | 2.() | - | 入院日 | 月 | 日 | 時 | 分 | (予約・緊急) | | | | | | | | | | | | |
| 入院までの経過 | | 退院日 | 月 | 日 | 時 | 分 | (軽快・死亡・転院) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 家族構成(同居家族は赤で囲む) | | 既往歴 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 個人の特徴 | | 意識 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 入院までの日常生活 | | 言語 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 家族構成 | | 瞳孔 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ①キーパーソン | | 対光反射 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ②主介護者 | | 位置 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・入院前に受けていた社会資源 | | 大きさ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 入院によって困ること | | 眼蓋 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・仕事 | | 顔面麻痺 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・家族 | | 嚥下 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・経済 | | 上肢落下 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 情報の提供者 | | パレーサイン | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 本人・家族 | | 指おり | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|) | | 膝立て | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|) | | 下肢伸展挙上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|) | | 鼻指鼻 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|) | | バゼンスキー | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|) | | 排尿回数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|) | | 便回数性状 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|) | | 夜間頻尿 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|) | | 飲水量 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|) | | DIV | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|) | | 看護記録 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|) | | サイン | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>家族構成</p> <pre> 父 母 本 人 </pre> | | <p>個人の特徴</p> <p>1. 職業()</p> <p>2. 趣味()</p> <p>3. 宗教()</p> | | | | | | | | | | | | | | <p>性別</p> <p>男</p> | | | | | | | |
| <p>①キーパーソン()</p> <p>②主介護者()</p> <p>・入院前に受けていた社会資源</p> | | <p>入院までの日常生活</p> <p>・食事 自力・介助()</p> <p>・清潔 自力・介助()</p> <p>・睡眠 良・不眠(眠剤)</p> <p>・排便 自力・介助()</p> <p>・排便 自力・介助()</p> <p>・痴呆 有・無</p> <p>・視力 正常・近視・遠視・老眼(メガネ・コンタクト)</p> <p>・聴力 正常・難聴(左・右)・補聴器有・無</p> <p>・義歯 有・無</p> <p>・アルコール 飲む(ml)・飲まない</p> <p>・タバコ 吸う(本)・吸わない</p> <p>・その他</p> | | | | | | | | | | | | | | <p>年齢</p> <p></p> | | | | | | | |
| <p>入院によって困ること</p> <p>・仕事()</p> <p>・家族()</p> <p>・経済()</p> | | <p>瞳孔</p> <p>対光反射</p> <p>位置</p> <p>大きさ</p> <p>眼蓋</p> <p>顔面麻痺</p> <p>嚥下</p> <p>上肢落下</p> <p>パレーサイン</p> <p>指おり</p> <p>膝立て</p> <p>下肢伸展挙上</p> <p>鼻指鼻</p> <p>バゼンスキー</p> <p>排尿回数</p> <p>便回数性状</p> <p>夜間頻尿</p> <p>飲水量</p> <p>DIV</p> | | | | | | | | | | | | | | <p>年齢</p> <p></p> | | | | | | | |
| <p>情報の提供者 本人・家族()</p> <p>)</p> <p>)</p> <p>)</p> | | <p>意識</p> <p>言語</p> <p>瞳孔</p> <p>対光反射</p> <p>位置</p> <p>大きさ</p> <p>眼蓋</p> <p>顔面麻痺</p> <p>嚥下</p> <p>上肢落下</p> <p>パレーサイン</p> <p>指おり</p> <p>膝立て</p> <p>下肢伸展挙上</p> <p>鼻指鼻</p> <p>バゼンスキー</p> <p>排尿回数</p> <p>便回数性状</p> <p>夜間頻尿</p> <p>飲水量</p> <p>DIV</p> | | | | | | | | | | | | | | <p>年齢</p> <p></p> | | | | | | | |
| <p>情報の提供者 本人・家族()</p> <p>)</p> <p>)</p> <p>)</p> | | <p>看護記録</p> <p>サイン</p> | | | | | | | | | | | | | | <p>年齢</p> <p></p> | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|

患者満足度調査表

あなたご自身のことについて

以下の質問にお答え下さい。当てはまる番号に○印を、()の中には該当する数字または言葉をお書き下さい。

記入日 年 月 日

1. あなたの年齢は () 歳
2. 性別は 1. 男 2. 女
3. 今日は、今回入院してから () 日目
4. 今までの入院経験 1. あり 2. なし
5. 今、入院している部屋は 1. 個室 2. 大部屋 (2人以上)
6. 面会は 1. よくある 2. 時々ある 3. たまにある 4. ない

1. 2. 3. の場合、面会に来てくれるのはどなたですか。
 { 1. 家族 2. 友人 3. その他 () }

7. あなたの入院中の生活についてお聞きします。

- 1) 食事は 1. 一人でできる 2. 人の助けが必要である
 2. の場合、主に誰が助けてくれますか、一人だけ選んで下さい。
 { 1. 家族 2. 友人 3. 看護婦 4. その他 () }
- 2) 排泄は 1. 一人でできる 2. 人の助けが必要である
 2. の場合、主に誰が助けてくれますか、一人だけ選んで下さい。
 { 1. 家族 2. 友人 3. 看護婦 4. その他 () }
- 3) 着替えは 1. 一人でできる 2. 人の助けが必要である
 2. の場合、主に誰が助けてくれますか、一人だけ選んで下さい。
 { 1. 家族 2. 友人 3. 看護婦 4. その他 () }

あなたがこの一週間に受けた看護について伺います。各質問項目に対して最も当てはまるところに○印を付けて下さい。

| | そ う で は な い | そ う や や で あ る | そ う か な り で あ る | そ う 非 常 に あ る |
|---|----------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|
| 1. 食事の温度や固さなど、あなたが食べやすいように看護婦は気をつけている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. あなたが食べやすいように看護婦はテーブルやお膳、箸の位置などを整える。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. 食事を食べられたかどうか、看護婦はいつも気にかけている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. 看護婦は食事で気をつけた方がよいことについてわかりやすく説明する。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. 看護婦はお通じやお小水の状態をいつも気に掛けている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6. 自分でお通じやお小水の状態を整える方法を、看護婦はわかりやすく説明する。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7. 「しものことはできるだけ自分でしたい」という気持ちを看護婦はよくわかっている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 8. あなたが体をきれいにしたり、髪を洗ったりしたいと思ったとき、看護婦はそのやり方を教える。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 9. あなたが体をきれいにしたいと思うときに、看護婦は気持ちよく手伝う。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 10. 看護婦はあなたがしてほしいようなやり方で体をきれいにする。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 11. あなたが自由に動けないとき、看護婦は必要に応じて手助けする。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 12. 看護婦は、あなたが動いたり、運動したりするとき、危険が起こらないように配慮する。 | 1 | 2 | 3 | 4 |

そうではない
 そりや
 そうである
 かなり
 そうである
 非常に
 そうである

13. あなたが動いたり運動したりするとき、看護婦はその方法を具体的に説明する。

1 2 3 4

14. 看護婦はあなたが眠れたかどうか気にかける。

1 2 3 4

15. あなたが眠れるように自分で工夫していることを、看護婦はじゅうぶん認めている。

1 2 3 4

16. 治療、処置の後など、必要時に休息がとれるように、看護婦は気を配っている。

1 2 3 4

17. 看護婦はあなたが快適に過ごせるように、部屋の温度や明るさを調整する。

1 2 3 4

18. あなたが快適に過ごせるように、看護婦はベッドとそのまわりを整える。

1 2 3 4

19. 看護婦は同室者がいてもあなたが快適に過ごせるように配慮する。

1 2 3 4

20. 看護婦は不快な音がしないように配慮している。

1 2 3 4

21. 看護婦はあなたがわかるように検査の説明をする。

1 2 3 4

22. 看護婦は検査にともなう苦痛が少なくなるよう工夫している。

1 2 3 4

23. 看護婦はあなたの症状をよくみて把握している。

1 2 3 4

24. 看護婦はあなたに自分の症状を自分で和らげる方法を教える。

1 2 3 4

25. ~~あなたが痛みを感じているときに、看護婦は痛みを和らげるための方法をとる。~~

1 2 3 4

そうではない
 そうや
 そうである
 かなり
 そうである
 非常に
 そうである

- 26. 私は検査にともなう患者の苦痛が少なくなるように工夫している。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|
- 27. 私は採血や注射には自信がある。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|
- 28. 私は患者の症状をよく観察し把握している。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|
- 29. 私は患者が痛みを訴えるとき、痛みを和らげる工夫をする。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|
- 30. 私は具合が悪くなったときの患者の動揺や不安をわかっている。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|
- 31. 私は患者の日課や体調を考慮して治療や処置を調整している。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|
- 32. 私は治療について患者が医師の説明では理解できなかったところをわかりやすく説明する。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|
- 33. 私は点滴をしている患者が動きやすいように工夫している。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|
- 34. 私は治療や処置を行う際に必要な観察をする。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|
- 35. 私は患者が必要とする時はいつでも話を聞いている。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|
- 36. 私は患者に頼まれたことはすぐに行なう。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|
- 37. 私は患者に信頼されていると思う。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|

そうではない
 やや
 そうである
 かなり
 そうである
 非常に
 そうである

38. 私は必要な時には患者を励ます。

1 2 3 4

39. 私は患者が不安そうな時にはそばにいるようにしている。

1 2 3 4

40. 今後の見通しについて患者や家族と話すようにしている。

1 2 3 4

41. 看護婦間の連絡は密接にとっている。

1 2 3 4

42. 私は病院の規則を患者に合わせて柔軟に適用する。

1 2 3 4

43. 私は十分に患者の看護をしようとしている。

1 2 3 4

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

あなた自身のことについて、以下の質問にお答え下さい。当てはまる番号に○印を、()のなかには該当する数字または言葉をお書き下さい。

1. あなたの年齢は () 歳
2. 性別は 1. 男 2. 女
3. 臨床経験総年数は () 年目
4. あなたは現在何の免許で働いていますか。
当てはまる番号を1つ選び○をつけて下さい。
 1. 看護婦 (士)
 2. 助産婦
5. あなたの働いている病棟はどこですか。当てはまる番号に○をつけて下さい。
 1. 外科系病棟 (全婦人科)
 2. 内科系病棟
 3. 産科病棟
 4. その他 ()
6. いま働いている病棟での看護の経験は () 年目。
7. あなたの職位・役職は以下のうちどれですか。当てはまる番号に○をつけて下さい。
 1. スタッフナース
 2. 主任
 3. 婦長
 4. その他 ()
8. 看護の基礎教育を受けた学校は以下のうちどれですか。
当てはまる番号を1つ選び○をつけて下さい。
 1. 看護婦 (士) 養成所 2年課程
 2. 看護婦 (士) 養成所 3年課程
 3. 短期大学 2年課程
 4. 短期大学 3年課程
 5. 大学
9. あなたの一日平均超過勤務時間数は 約 () 分

あなたがこの一週間にケアした患者さんへの看護について伺います。各質問項目に対して最も当てはまるところに○印を付けて下さい。

- | | そうではない | やや
そうである | かなり
そうである | 非常に
そうである |
|---|--------|-------------|--------------|--------------|
| 1. 私は患者の食欲があるかどうか気を配っている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. 患者が食欲がないとき、私は家族と相談して少しでも食べられるように工夫している。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. 私は配膳のとき、患者が食べやすいようテーブルやトレイを整える。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. 私は患者の自立度に応じて食べるペースを考慮して介助をする。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. 食事指導の際、私は患者や家族の理解度、実行力を考慮してわかりやすく指導する。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6. 私は患者の排泄の状態を把握している。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7. 患者の自立度に応じて、私は適切な方法で排泄の介助を行っている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 8. 私は患者の気兼ねや羞恥心を考慮して排泄のケアを行っている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 9. 排泄のコントロールがうまくいくように、私は患者の生活状態にあわせて、処置や指導をする。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 10. 患者の排泄のパターンを把握して、私はタイミングよく援助している。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 11. 私は患者の状態にあわせて清潔に関する指導をする。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 12. 私は患者の希望をとり入れながら清潔の援助をする。 | 1 | 2 | 3 | 4 |

| | そ う で は な い | そ や そ う で あ る | そ か な り そ う で あ る | そ 非 常 に そ う で あ る |
|---|----------------------------|---------------------------------|---|---|
| 13. 患者の清潔に関して家族が援助できるように、私は指導や説明をする。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 14. 私は患者が清潔の援助に対して遠慮や気兼ねをしないように心がけている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 15. 私は、患者が自由に動けないとき、必要に応じて援助する。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 16. 私は患者の活動に関して、危険が起こらないように配慮する。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 17. 私は、患者に移動、活動の方法を具体的に説明する。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 18. 私は患者が眠れているかどうか気にかけている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 19. 私は患者が眠れるように環境を整える。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 20. 私は治療や処置の後など患者が休息をとれるように気を配っている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 21. 私は部屋の温度や明るさを患者の意向に合わせて調整する。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 22. 私は患者が快適に過ごせるように、ベッドとそのまわりを整える | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 23. 私は同室者のいる場合、患者が快適に過ごせるように配慮する。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 24. 私は患者が病気のことによって不安なとき、安心できるように話を聞く。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 25. 私は患者に検査について分かりやすく説明する。 | 1 | 2 | 3 | 4 |

| | | | |
|--------|-------------|--------------|--------------|
| そうではない | やや そうである | かなり そうである | 非常に そうである |
|--------|-------------|--------------|--------------|

26. 看護婦は具合が悪くなったときのあなたの気持ちの動揺や不安をわかっている。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|

27. 治療や処置の際に、看護婦は時間や体調を考慮し調整している。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|

~~28. 治療について医師の説明ではわからない所を看護婦はわかりやすく説明してくれる。~~

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|

29. 点滴をしているときに、看護婦はあなたが動きやすいように何か工夫をしている。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|

30. 看護婦の注射や採血の技術は確かなので、安心して受けられる。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|

31. 看護婦はあなたが必要とする時はいつでも話を聞いてくれる。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|

32. 看護婦はあなたが頼んだことをすぐしてくれる。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|

33. あなたは看護婦を信頼している。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|

34. 看護婦間の連絡は良い。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|

35. 看護婦はあなたが必要とする時は励ましや手助けを惜しまない。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|

36. 看護婦の顔を見ると元気がわいてくる。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|

~~37. あなたが不安で心細いときに、看護婦がそばにいてくれる。~~

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|

38. 看護婦はあなたが希望する時には、病院の規則を柔軟に適用して、それが叶うように努力する。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|

39. 看護婦はあなたの都合を考慮して検温や血圧測定を行う。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|

脳梗塞患者の入院フォロー

| | | |
|-----|--------------------|---|
| 入院時 | 入院時オリエンテーション | |
| | 1) 看護の入院時オリエンテーション | |
| | 2) 医師と患者のアポイントメント | |
| | 3日目 <診断確定> | 第1候補 月 日 時 第2候補 月 日 時 |
| | 7日目 <予後確定> | 退院後の相談 第1候補 月 日 時 第2候補 月 日 時 |
| 3日目 | 診断確定 | 医師からのムンテラ 看護から退院後の説明 医療ソーシャルワーカーのアポイントメントとり |
| 7日目 | 予後確定 | 医師からのムンテラ 医療ソーシャルワーカー打ち合わせ 退院後の転院ならベッド予約 |

出典 日野原重明監修 クリティカル・パス 導入・作成・実践の具体的手引き p.34

退院後の説明表（脳梗塞）

本日、医師より説明のありましたように、（ ）様の診断名は脳梗塞の< >型です。

予後は4日後から5日後の〇月〇日に確定いたします。

このときに退院後のご相談をさせていただきます。

退院後の選択として、いくつかのオプションがございます。

この資料を看護婦が説明いたしました後、お持ち帰りになって、ご家族とご相談くださいますようお願いいたします。

| オプション内容 | 受けられるサービス | 費用 | 備考 |
|------------------|---|----------------------|---------------------------------|
| 自宅へ帰る | 外来受診 外来リハビリ 訪問看護サービス 福祉サービス | 外来での費用 訪問看護サービス費用 | 地域によって、訪問看護サービスや福祉サービスの内容は異なります |
| リハビリ病院 | 入院 リハビリテーション | お世話料 | 希望地域（ ） ベッド待ちの平均 |
| 療養型病床群 (老人病院) | リハビリテーション | 15万円～20万円 (1か月) | 希望地域（ ） |
| 老人保健施設 | 症状安定期にあたり、入院治療が必要ないが、リハビリテーション、看護介護、自立支援する。 | 6万円～8万円 (1か月) | 地域によってはベッド待ち3か月間しか入所できません。 |
| | | | |

予後が確定しましたら、医師の説明があります。そのあと、ソーシャルワーカーが訪問いたしますので、退院後の相談をさせていただきます。

出典 日野原重明監修 クリティカル・パス 導入・作成・実践の具体的手引き p.36

5/99

再検討データ入力内容

| 変数名 | 変数ラベル | 入力法 | 欠損値の扱い (空白は欠損値のないもの) |
|----------------|-----------|--|--|
| PTID | 患者ID | 数値入力 | |
| ZENGO | パス導入前後 | 1. 前 2. 後 | |
| HOSP | 病院名 | 1. 中央 2. 熊本 | |
| NAME | 氏名 | 漢字入力 | |
| SEX | 性別 | 1. 男 2. 女 | |
| BIRTHDAY | 生年月日 | 例) 1921/3/23 | |
| ADDAY | 入院年月日 | 例) 1999/2/23 | |
| DISDAY | 退院年月日 | 例) 1999/3/3 | |
| READDAY1 | 再入院年月日 | 例) 2000/2/5 | 非該当ピリオド |
| READDAY2 | 再入院の退院年月日 | 例) 2000/2/7 | 非該当ピリオド |
| DEATHDAY | 死亡年月日 | 例) 1999/10/5 | 非該当ピリオド |
| MD | 主治医 | 漢字入力 | |
| DIS | 退院先 | 0. 自宅 1. 老健 2. 老人病院 3. 特養 4. リハ病院 5. その他 6. 死亡退院 | 不明999 |
| DIAG | 脳梗塞の診断名 | 1. ラクナー 2. アテローム 3. 心源性 4. その他 | 不明999 |
| HAIGU | 配偶者の有無 | 0. なし 1. あり | 不明 999 |
| CHILD | 同居子の有無 | 0. なし 1. あり | 不明 999 |
| CHILDREN | 子供の数 | 実数 | 非該当 (いない) 888 不明 (わからない) 999 |
| (以下リハ記録から) | | | |
| RH1 | リハの有無 | 0. なし 1. あり | 不明999 |
| RIHAS | リハ開始年月日 | 例) 1999/5/6 | 非該当ピリオド |
| RIHATYPE | 理学療法の種類 | 1. A 2. B 3. C 4. D 5. E 6. F 7. H | 非該当 (行っていない) 888 不明 (行なっているが、種別は不明) 999 |
| (以下入院時の副次診断名?) | | | |
| DM | 糖尿病 | 0. なし 1. あり | 不明999 |

| | | | |
|--------------|------------------|---|--|
| HT | 高血圧 | 0. なし 1. あり | 不明999 |
| GAPEI | その他 | 0. なし 1. あり | 不明999 |
| (以下入院中の記録から) | | | |
| MRI1 | 1回目MRIの入院後 日数 | 実数 | 非該当 (行っていない) 888 |
| MRI2 | 1回目MRIの入院後 日数 | 実数 | 非該当 (行っていない) 888 |
| MRI3 | 1回目MRIの入院後 日数 | 実数 | 非該当 (行っていない) 888 |
| HAIEN | 肺炎 | 0. なし 1. あり | 不明999 |
| FALL | 転倒 | 0. なし 1. あり | 不明999 |
| FEVER | 発熱日数 | 温度版から37度以上 あった日を数え数値 入力、なければ0 | 不明999 |
| CATHE | 尿カテーテル日数 | 挿入日数を数え数値 入力、なければ0 | 不明999 |
| ANTI | 抗生剤使用の有無 | 0. なし 1. あり | 不明999 |
| ANTIDAY | 抗生剤使用の日数 | 実数、なければ0 | 非該当 (antiが0の場合) 888 不明 (antiが999あるいは日数 が不明) 999 |
| ANTITYPE | 使用した抗生剤の商 品名 | ANTI 1 セファメン ジン ANTI 2 セフメタゾ ン ANTI 3 パンスポリ ン ANTI 4 バンコマイ シン ANTI 5 その他のセ フェム系 ANTI 6 その他のペ ニシリン系 (例ペン トシリン) ANTI 7 その他 | 1使用あり 非該当 (antiが0の場合) 888 不明 (antiが999あるいは種類 が不明) 999 |
| DIAPER | おむつ使用 | 0. なし 1. あり | 不明999 |
| HS | 長谷川式スケール | 実数 (0~20) | 不明999 |
| (以下入院指示書から) | | | |
| EMER | 緊急処置の可能性 | 0. なし 1. あり | 不明999 |
| YUEKI | 輸液の可能性 | 0. なし 1. あり | 不明999 |
| RESP | 呼吸障害 | 0. 障害無し 1. 呼吸器使用 2. 酸素使用 | 不明999 |
| CONS | 意識障害 | 0. 障害なし 1. 有り 2. 不穏 | 不明999 |
| VISON | 視力障害 | 0. 障害無し | 不明999 |

| | | | |
|------------|------------|---|-----------------------------|
| | | 1. 何とか見える 2. 全く見えない | |
| HEAR | 聴力障害 | 0. 障害無し 1. 何とか聞こえる 2. 全く聞こえない | 不明999 |
| SPEECH | 言語障害 | 0. なし 1. あり | 不明999 |
| MOVE | 歩行障害 | 0. 障害無し 1. 独歩不能 2. 車椅子 3. 歩行器 4. 介助 | 不明999 |
| TOILET | 排泄障害 | 0. 無し 1. ベッド上 2. ポータブル | 不明999 |
| ANSEI | 安静度 | 0. 制限無し 1. 絶対安静 2. ベッド上安静 | 不明999 |
| EIYO | 栄養 | 0. 常食 1. 治療食 2. 禁食 | 不明999 |
| HD | 透析の有無 | 0. なし 1. あり | 不明999 |
| ADL | ADLのレベル | 0. 障害なし 1. 部分介助 2. 全面介助 | 不明999 |
| ADLEAT | 食事動作介助 | 0. なし 1. 必要 | 非該当 (ADLが0) 不明 (ADLが999) |
| ADLTOIL | 排泄動作介助 | 0. なし 1. 必要 | 非該当 (ADLが0) 不明 (ADLが999) |
| ADLWALK | 歩行介助 | 0. なし 1. 必要 | 非該当 (ADLが0) 不明 (ADLが999) |
| ADLBATH | 入浴介助 | 0. なし 1. 必要 | 非該当 (ADLが0) 不明 (ADLが999) |
| ADLOTHE | その他のADLの介助 | 0. なし 1. 必要 | 非該当 (ADLが0) 不明 (ADLが999) |
| (以下レセプトから) | | | |
| MAINE | 主保険 | (コード調べ中) | |
| JYUE1 | 従保険 1 | (コード調べ中) | |
| JYUE2 | 従保険 2 | (コード調べ中) | |
| KIHON | 基本料 | 実数 | |
| TOUYAKU | 投薬料 | 実数 | |
| CHUSHA | 注射料 | 実数 | |
| GAZOU | 画像料 | 実数 | |

| | | | |
|--------------|-----------------------|------------------------------|--|
| KENSA | 検査料 | 実数 | |
| SHOTI | 処置料 | 実数 | |
| OPE | 手術料 | 実数 | |
| OTHER | その他 | 実数 | |
| GOUKEI | 合計点数 | 実数 | |
| (退院後調査から) | | | |
| HOMEDAY | 退院後調査実施日 | 例) 2000/3/4 | 行っていない場合ピリオド |
| HOMEHEL P | 在宅介護サービスの 回数 | 月換算の利用回数、 受けていないときは 0 | 不明の場合は999 調査実施しない場合 (死亡や 再入院) は888 |
| HNURSIN G | 訪問看護の回数 | 月換算の利用回数、 受けていないときは 0 | 不明の場合は999 調査実施しない場合 (死亡や 再入院) は888 |
| HBATHIN G | 訪問入浴の回数 | 月換算の利用回数、 受けていないときは 0 | 不明の場合は999 調査実施しない場合 (死亡や 再入院) は888 |
| DAYCARE | デイケアあるいはデ イサービスの回数 | 月換算の利用回数、 利用していないとき は0 | 不明の場合は999 調査実施しない場合 (死亡や 再入院) は888 |
| SHRTSTAY | ショートステイ | 月換算の利用日数、 利用していないとき は0 | 不明の場合は999 調査実施しない場合 (死亡や 再入院) は888 |
| NYUSHO | 長期ケア施設への入 所 | 0. なし 1. あり | 不明の場合は999 調査実施しない場合 (死亡や 再入院) は888 |